

基本目標	1 魅力ある安定した雇用が生まれるまちづくり							
目的	「しごと」と「ひと」の好循環を確立するためには、まず、「しごと」づくりが第一です。転入超過の状況を維持するには、新しい人の流れを彦根市に呼び込み、若い世代の結婚から子育てまでの希望をかなえ、彦根市に住み、住み続けるための前提として、「しごと」の確保は欠かせません。 そのため、産業振興や競争力の強化などに、官民が連携して取り組むことで、安定した雇用や魅力ある雇用を創出し、多様な雇用機会の確保に努めていきます。 また、近年、人材不足が深刻化していることから、就労に結びつく「ひとを育てる支援」や、官民の連携による新卒者等の地元就労を促す「しごととひとを結びつける支援」を強化することによって、彦根市で就労できる環境や企業が人材を確保しやすい環境を整えていきます。 さらに、文化・歴史資産、農林水産物などの地域資源を活かした観光産業や農林水産業等の活性化などによる雇用の創出にも努めていきます。							
数値目標	指 標	基準値	目標値 (R6年度)					
	有効求人倍率 (彦根管内)	1.72倍 (H27～30年度平均)	1.50倍					
各施策とその方向性	施策名		KPI名	KPI基準値	KPI目標値(R6年度)	方向性		
	(1) 企業立地や産業集積の促進等による地元での就職環境の整備	有効求人倍率(彦根管内)		1.72	1.50	交通の利便性や充実した教育機関などの彦根市の強みや特性を活かしながら、企業立地や産業集積の促進を図り、安定した多様な雇用先を確保します。		
		企業立地促進助成措置件数(件)【累計】		83	98	また、地元企業と学生のマッチングなどに積極的に取り組み、市内大学卒業者をはじめとした新卒者や既卒者の本市域での就職を促進していきます。		
	(2) 起業や新分野への進出に対する支援による新たな雇用の創出	起業者数(人)【累計】		74	149	地域に新たなビジネスや雇用を創出し、地域を活性化させるため、産学官金連携のもと、起業や第二創業等による新たな分野への進出に係る人材育成や企業育成等について支援を行っていきます。		
	(3) 地場産業の人材確保・育成および競争力強化	彦根仏壇職人等後継者育成事業補助者数(人)【累計】		17	29	彦根市の地場産業である彦根仏壇・パルプ・ファンデーションの活性化を図るため、「彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画」に基づき、関係機関の連携のもと、人材の確保・育成、営業戦略、販路拡大、技術商品開発等によるブランド強化、国際化(海外展開)等について、各産業の特性に合わせた取組を展開するとともに、必要な支援を行っていきます。		
	(4) 6次産業化や農商工連携の推進による農林水産業の競争力強化	新規就農者数(人)【累計】		0	3	優れた経営感覚を持つ多様な担い手を将来にわたって確保し、先駆的な取組を行う農業者の育成を図るとともに、経営体の法人化を推進し、安定した経営基盤を確立することで、6次産業化による生産・加工・流通の一体化や農商工連携が図れるよう支援していきます。		
		法人経営体数【累計】		23	26			
	(5) 人材不足の職場における人材の確保・定着への支援	福祉の職場説明会参加者のうち就職に結びついた人数(人)		5	12	福祉・介護・保育・医療職場等、求人と求職のミスマッチが生じている職場については、人材を確保するため、説明会等の開催や必要な資格取得に対する支援を行うとともに、離職率の高い職種については、研修会の開催や待遇改善を働きかけるなど、必要な人材の確保・定着への支援を行っていきます。		
		ひとり親家庭が就職に有利な資格等を取得する際に係る費用助成対象者数(人)【累計】		21	52			
	(6) 観光・文化・スポーツの振興による地域活性化策の強化	①「21世紀型城下町・彦根の創造」による観光地域づくり			20世紀型観光からの脱却を図るため、国宝彦根城をはじめとする文化財や彦根城博物館を、市民をはじめとする多様な主体が文化活動等を展開できる文化的空間として活用し、磨きあげること で、ブランド力の向上を図り、まちなみ景観、文化財、食、伝統産業、文化・芸能等を取り込んだ魅力的な城下町「21世紀型城下町・彦根」を創造していきます。 さらには、国内はもとより外国人観光客に対する効果的な誘客促進により、地域活性化を図るため、広域観光の促進とインバウンド誘致に努めていきます。これにより、交流人口の増加と観光消費が及ぼす経済波及効果を創出し、地域経済の持続的な活性化を図っていきます。			
		観光入込客数(人)		3,073,300				3,650,000
		観光消費額(億円)		158				200
		外国人観光客数(人)		85,328				100,000
		②まちなみ・歴史・文化資産の適正な保全と利活用			世界遺産暫定リストに登録されている彦根城の世界遺産登録に向けた取組を推進していきます。 また、城下町等の歴史的なまちなみの保全とともに、歴史・文化資産の利活用を図っていきます。			
		歴史まちづくり取組件数(件)【累計】		26				29
		③国民スポーツ大会等を契機としたスポーツ振興による地域活性化			令和7年(2025年)に滋賀県で開催が予定されている第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会が主会場の(仮称)金亀公園をはじめ、市内各会場で開催されることから、両大会開催を契機に生涯スポーツをより一層楽しめる環境づくりを進めていきます。 また、東京2020オリンピック・パラリンピックや、ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に伴うムーブメントが地方へも波及することを踏まえて、多様な交流やスポーツに親しめるにぎわいに満ちたまちづくりをめざしていきます。			
		スポーツ大会の市外参加人数(人)		1,256				34,800
R3年度の評価と課題	施策名		KPI名	R3年度KPI結果	R3年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、今後実施すべき取組
			有効求人倍率(彦根管内) 【地域経済振興課】	1.40	1.50	93.3%	(内部) ◆新型コロナウイルス感染症の影響を受けた雇用情勢は持ち直しの動きが見られましたが、目標値を達成するまでには至りませんでした。新型コロナウイルス感染症が雇用と与える影響に引き続き注意する必要があります。	(内部) ◆新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にありますが、彦根地域雇用対策協議会で各関係機関と各事業所との連携により課題解決に取り組めます。
							(外部)	(外部)

R3年度の評価と課題	施策名	KPI名	R3年度KPI結果	R3年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、今後実施すべき取組
	(1) 企業立地や産業集積の促進等による地元での就職環境の整備	企業立地促進助成措置件数(件)【累計】 【地域経済振興課】	91	89	達成	(内部) ◆企業の投資が一定数あり、彦根市企業立地促進条例の周知により、目標値を達成することができました。	(内部) ◆引き続き、彦根市企業立地促進条例の周知を行うとともに、企業の設備投資の促進に努めて参ります。
						(外部)	(外部)
	(2) 起業や新分野への進出に対する支援による新たな雇用の創出【基本目標3にも掲載】	起業者数(人)【累計】 【地域経済振興課】	138	104	達成	(内部) ◆支援対象者数は昨年度比で微増であったが、実際に起業された人数が3倍近くとなり目標を達成することができました。	(内部) ◆相談窓口利用者による起業者が多いことから、引き続き各関係機関と連携しながら支援を行います。 ◆また、中央町サテライトオフィスの活用など、起業しやすい環境整備にも努めて参ります。
						(外部)	(外部)
	(3) 地場産業の人材確保・育成および競争力強化	彦根仏壇職人等後継者育成事業補助者数(人)【累計】 【地域経済振興課】	20	23	87.0%	(内部) ◆仏壇職人に魅力を感じる人材が少ないことが、後継者育成の障害となっています。	(内部) ◆彦根仏壇事業協同組合と連携して、仏壇職人のイメージと労働条件の向上に取り組めます。
						(外部)	(外部)
	(4) 6次産業化や農商工連携の推進による農林水産業の競争力強化	新規就農者数(人)【累計】 【農林水産課】	2	2	達成	(内部) ◆稲枝をはじめとする彦根市南部地域では、認定農業者をはじめとした担い手が充足しており、土地利用型農業にて新たに就農するには、借地を行う余地が少ないため、新規就農者を増やすことが難しい現状です。 ◆しかしながら、農業者の高齢化問題に対応すべく、雇用就農・農家子弟等の新規就農を引き続き関係機関とともに支援し、地域農業の持続性を保つことが引き続きの課題となっています。	(内部) ◆新規就農者への支援および補助制度につきましては、ホームページ等を活用し積極的なPRを引き続き行ってまいります。 ◆また、コロナ禍の影響により解雇・離職された等の理由から、新たな雇用就農・新規就農の希望者がある事を期待しており、引き続き、市と関係機関が連携して就農希望者へのサポート等を行い、条件が整えば国の制度を活用し交付金を交付することにより、新規就農者の定着を図ります。
						(外部)	(外部)
		法人経営体数【累計】 【農林水産課】	26	24	達成	(内部) ◆本市では経営法人化を希望する農業者は、概ね法人化を実現されるに至りました。 ◆今後においては、比較的高齢の個人経営農業者が、将来的に経営継承されることを見据え、事業継承を円滑に進めるために経営の法人化を推進する必要があります。	(内部) ◆認定農業者等の担い手がない地域においては、集落営農組織の法人化や経営体質強化に向け、引き続き湖東地域農業センター等と連携し、その指導と支援を図ります。 ◆また、親元就農者が経営承継される機会などを捉えて、法人化支援を引き続き行ってまいります。
						(外部)	(外部)

事務局：
集計方法に誤りがあり、実績値を18→20に修正しました。

R3年度の評価と課題	施策名	KPI名	R3年度KPI結果	R3年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、今後実施すべき取組
	(5) 人材不足の職場における人材の確保・定着への支援	福祉の職場説明会参加者のうち就職に結びついた人数(人) 【高齢福祉推進課】	10	12	83.3%	(内部) ◆令和3年度は、福祉の職場説明会を12月と2月にコロナ過であったことから2部制で開催し10人採用という一定の成果に繋げることができましたが、事業者と参加者の結び付け方を引き続き検討していく必要があります。	(内部) ◆令和4年度から補助金が拡大されることとなったことから、福祉の職場についてのPRに活用し、福祉の職場を更に身近に感じてもらえるよう情報発信していきます。
						(外部)	(外部)
		ひとり親家庭が就職に有利な資格等を取得する際に係る費用助成対象者数(人)【累計】 【子育て支援課】	35	34	達成	(内部) ◆資格取得後就労に結びつかない場合もあり、ひとり親家庭の自立に向けた就労支援を図る必要があります。	(内部) ◆児童扶養手当現況届の窓口対応時等で施策を積極的に周知することで、資格取得を促進することに加え、当課で実施しているプログラム策定員による就労支援を継続することで雇用や定着に繋げていきます。
						(外部)	(外部)
	(6) 観光・文化・スポーツの振興による地域活性化策の強化	観光入込客数(人) 【観光交流課】	1,536,397	3,310,000	46.4%	(内部) ◆新型コロナウイルス感染症の流行により、目標達成には至りませんでした。対前年比約106%の観光入込客数となりました。	(内部) ◆日帰り客は対前年度比約113%と回復の兆しが見えましたが、宿泊客数は同約79%であったため、特に宿泊客を増やす取組を推進してまいります。
						(外部)	(外部)
		観光消費額(億円) 【観光交流課】	67	175	38.3%	(内部) ◆新型コロナウイルス感染症の流行により、目標を大きく下回る結果となりました。また、宿泊者数の減少等により、対前年比約85%の観光消費額となりました。	(内部) ◆今後の先行きは不透明ですが、withコロナ、afterコロナそれぞれに応じた観光振興施策や誘客施策等の研究・検討を行い、安心安全な実施や、準備を行ってまいります。
						(外部)	(外部)
		外国人観光客数(人) 【観光交流課】	3,494	91,000	3.8%	(内部) ◆新型コロナウイルス感染症の流行により、目標を大きく下回る結果となりました。	(内部) ◆外国人観光客については、国内観光客よりも回復は遅れるものと考えており、来るべきインバウンド需要の回復期に向け、afterコロナの外国人観光客誘致について調査研究を行ってまいります。
						(外部)	(外部)

R3年度の評価と課題	施策名	KPI名	R3年度KPI結果	R3年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、今後実施すべき取組
		歴史まちづくり取組件数(件)【累計】 【景観まちなみ課】	27	27	達成	(内部) ◆歴史的風致の維持向上には、関係課等による歴史まちづくりに関連した事業を継続的に取組む必要があります。	(内部) ◆彦根市歴史的風致維持向上計画に基づき、彦根城を中心とする歴史的風致を後世に伝えて行くため、関係課と市民や関係団体等の協働による取組を進める必要があります。
						(外部)	(外部)
		スポーツ大会の市外参加人数(人) 【スポーツ振興課】	746	2,200	33.9%	(内部) ◆令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの大会が中止もしくは参加者を市内住民のみに限定しての開催となる中、シティマラソンは、大会史上初のオンライン開催として、799人の方に参加いただき、そのうち746人は市外住民であった。これについては、想定よりも多くの市外住民の方に参加していただくことができましたが、オンラインではなくリアルの大会を望む声が多いことから、感染拡大対策を徹底し、安心・安全を確保したうえで、コロナ禍前のような活気あふれる大会やイベントを開催していく必要があります。	(内部) ◆withコロナ社会の中で、感染症対策を徹底し、誰もが安心してスポーツできる機会を増やすための取組を推進していくとともに、令和4年12月に供用開始予定のプロシードアリーナHIKONE（彦根市スポーツ・文化交流センター）を最大限活用し、市内住民だけでなく、市外住民も参加できるよう周知徹底を図るなど、地域活性化に向けた取組を推進していきます。
						(外部)	(外部)